



#TS PROJECT NEWS

VOL.13

 #TSProject
をフォロー!

2019/6/14 発行

振りやすいのにパワフルに飛ぶ! TS1が切り開くドライバーの新世界



今回のTS Project NEWSでは、すでに大きな反響を巻き起こしているタイトリスト TS1ドライバーの革新ポイントについて、改めてご紹介します。

タイトリスト ゴルフクラブR&D チームは、新しい飛びの世界を切り開くために、TS (Titleist Speed) プロジェクトを立ち上げました。その基幹となるのがヘッドのスピードシャーシ設計。ヘッドの慣性モーメントを最大化させインパクトでのエネルギーロスを最小に。そしてボールスピードを飛躍的にアップさせようという挑戦でした。それは単にエネルギーロスの軽減、スピン量と打ち出し角度の安定化という、一般に広く知られている高慣性モーメント

ヘッドの優位性を大きくしよう!ということだけではありません。一定方向に動き続けようとする慣性エネルギー自体が、ボールスピードをアップさせるエンジンになることを突き止めたからです。

このためTS2・TS3は、どちらもフルサイズ(460cc)ヘッドとなりました。当然、大型ヘッドの方が慣性モーメントを高めることができるからです。ここがD2(460cc)、D3(440cc前後)となっていた、タイトリストの従来ドライバーとの大きな

違いでした。これまでとは異なるコンセプトで作られたことを示すために、モデル名称も“TSドライバー”と改められました。

さて、そのTSプロジェクトが生み出した最新モデル、TS1ドライバーですが、こちらもちろん、スピードシャーシ設計/高慣性モーメントヘッドによるスピードアップにこだわって作られています。TS2・TS3と大きく異なるのは、クラブ全体の重量感です。

(次ページへ)

Titleist

#TS PROJECT NEWS



TS1ドライバーは、ヘッド慣性モーメントをTS3と同等としながらも、ヘッド・シャフト・グリップの重量バランスを徹底的に見直すことで、極めて軽量に作られています。これによってこれまでの「パワフルな弾道が出るが、やや重たく振りにくい!」という高慣性モーメントヘッドの泣き所を覆し、「軽く、振りやすいのに、パワフル弾道!」という、まったく新しい高慣性モーメントドライバーの世界を切り開いてみせたのです。

クラブ総重量 275g (Titleist Diamana 50/Sの場合)。

TS1の重さはあくまでも、スピードシャーシ設計/高慣性モーメントヘッドを活かし切るために導き出した、TSプロジェクトの“答え”です。決して、ヘッドスピードが遅めのゴルファーに対応しようとした結果ではありません。

今、米男子ツアーでも60g前半の軽量シャフトを選ぶプレーヤーが増えています。それはクラブの軽量化が

高慣性モーメントヘッドのエネルギーを最大に活かすための方法であることを示しているのかもしれませんが。

軽快に振り切り、クラブスピードを最大化したその先に、世界のトッププレーヤーを唸らせるTSドライバーだけが持つ、新しいスピードの世界が広がっています。

TS1ドライバーのパワフル弾道を体験できる、タイトリストDEMOイベントをぜひ、貴媒体でご紹介いただきますようお願い申し上げます。

タイトリスト 試打会スケジュール

TS1の驚異のフルスピードを実感! TS DEMOイベントを開催中!

<http://www.titleist.co.jp/html/event/demoday.shtml>

読者様用お問い合わせ先 **TEL 0120-935-325** **URL www.titleist.co.jp**

メディア様お問い合わせ先 | アクシネット ジャパン インク タイトリスト事業本部 池田・山下 **TEL 03-6890-0512** **FAX 03-6890-1551**

Titleist